



愛宕っ子

令和4年12月23日

旭川市立愛宕小学校

学校だより 第9号

読み聞かせのやり方を変えてみる

校長 横山 市子

12月の読み聞かせは、4年2組で行いました。先月までは別の本にするつもりでしたが、今の季節にぴったりの本が家にあったのを思い出したので、「サンタクロースってほんとにいるの？」を読みました。



子どもに、「サンタさんはいるの？」と聞かれたことのある方も多いと思います。この本は、そんな子どもの疑問に一つ一つ、答えていく流れになっています。1983年に発行されたとても古い本ですが、私は最後のページが大好きです。途中に、「夏の間は どうしてるの？」というところがあります。この問いに答える形で、「サンタのなつやすみ」という本を続けて読むと、さらに楽しめると思います。

読み終えた後、日本のクリスマスは冬だけれど、季節が反対の国もあることを話すと、驚いた顔をしている子どもがいました。読み聞かせをきっかけに、いろいろなことに興味を広げていくこともできます。

今回の読み聞かせでは、タブレット端末（iPad）の活用挑戦しました。これまではスキャナーで1ページごとにPDFデータを作成し、取り込んだデータファイルをパワーポイントなどのソフトで編集していたため、非常に手間がかかりました。私は、もっと手間がかからないやり方はないものだろうか？と考えました。そこで、先生方が日頃授業で活用しているやり方からヒントをもらい、試してみることにしました。

まず、タブレットで本のページを写真に撮ります。それをデータとして保存します。あとは「ミラーリング」という機能で、各教室に設置しているアップルTVに映し出し、子どもたちに見せながら読み聞かせをするという方法です。この方法は、今までの方法と比べて準備時間が圧倒的に少なく、しかも画像がとてもきれいに映し出されます。子どもたちが集中して話に聞き入ったことは言うまでもありません。便利で、効率がよく、効果的であることがよく分かりました。

こう書くと、私がすごくICTに詳しいと思われる方がいるかもしれませんが、そんなことは全くありません。むしろ苦手な方なのです。そんな私でも、令和3年度から導入されたGIGAスクールの取組を少しずつ進めているうちに、職員に教えてもらいながらこんな使い方ができるようになりました。「習うより慣れろ」とはよく言ったものです。とにかく使ってみながら覚えていくのが、新しいことを取り入れるのには一番よいようです。

私より頭も体も若い職員は、教育活動の中で次々と新たな活用を進めています。ついていくのがやっとなのですが、刺激をもらいながら共に学んでいきたいと考えています。

保護者・地域の皆様には今学期も大変お世話になりました。大きな事故なく冬休みを迎えることができるのは、皆様のおかげです。どうぞよいお年をお迎えください。



参観日 ご来校ありがとうございました。

12月5日（月）～8日（木）参観日がありました。今回は教室で直接授業の様子を見ていただく20分間と、控室から画面を通しての20分間の参観という方法で行いました。じっくりと参観していただく十分な環境を整えることが難しく、ご不便をおかけしておりますが、たくさんの保護者の皆様に来校をいただき、子どもたちの学習の様子を見ていただくことができました。



少ない時間ではありましたが、二つのスタイルから子どもたちの頑張っている姿をご覧いただけたかと思います。

今年度も、残すところ3学期だけとなりましたが、引き続き子どもたちの健やかな成長のため、ご協力をお願いいたします。



控室での参観



～学校閉庁日のお知らせと休日等における緊急の連絡先について～

冬季休業期間中、6日間の学校閉庁日（12月29日～1月3日）を設定しています。学校閉庁日や休日・祝日に、事故や新型コロナウイルスへの感染など、緊急な連絡が必要になった場合、本校のホームページの「お知らせ」→「入力フォームのお知らせ」に掲載してある、googleフォームを利用してお知らせください。

※入力いただいた内容について、後日学校からお電話で確認する場合がございます。



1月の予定

1日（日）年始の休日（学校閉庁日） ～3日	17日（火）スキー学習5、6年
9日（月）成人の日	23日（月）スキー学習3、4年
13日（金）3学期始業式	24日（火）スキー学習5、6年
	25日（水）読み聞かせ